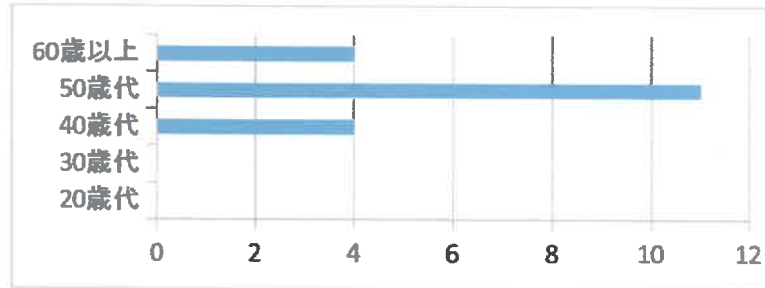
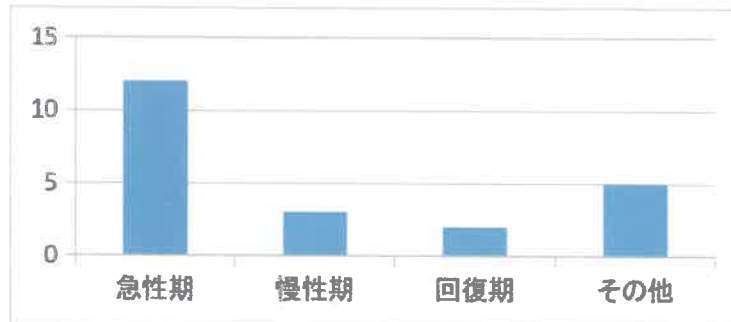


2025年度 南予地区看護管理者研修 アンケート結果
回収率100% (参加者19名 回収人数19名)

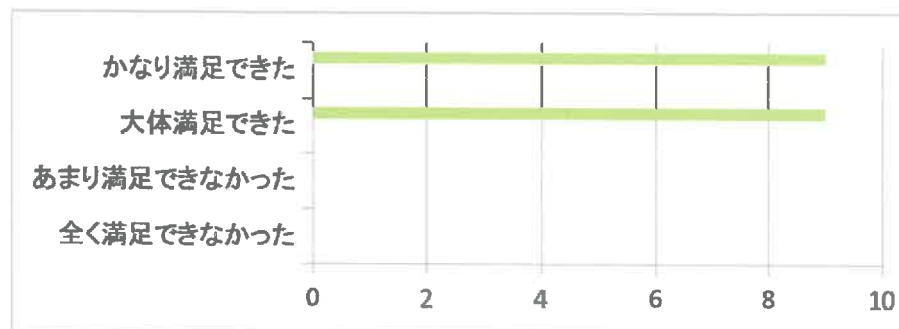
1、年齢



2、所属する施設



3、今回の研修に期待されたことに対して満足されましたか。



4、今回の研修の形態、運営についてご意見をお願いします。

良かった点：○他病院の現状や課題が分かり参考とできるものがあつた。

○国政に直接参加されている議員さんの話を直接聞けて、何が問題とされているかを知りことができた。

○他の施設の現状が聞けた。

○国政の動きをお伝えくださり、学びになり 関心が持てました。

○他施設の現状が分かり、今後取り組んでいかなければならないことが分かった。

共感出来ることが多々あつた。

○各病院の抱えている問題を紙面ではあるが、知りことができた。

南予の状況をよくわかって頂けている事はよくわかった。

○各地域の現状を知ることができた。特に南予地区の問題を知ることができた。同じ悩みを抱えていることに共感することができた。

○国の動きをつ知る機会になった。

他の施設の状況を知り、対策を参考にすることができた。

○長谷川議員の活動から始まって、県の状況、現場の声、意見交換会と分かりやすく有意義な構成だったので勉強にもなり、参考ににもなって大変良かった。

○各施設の現状が聞けて良かったです。まだまだ検討し改善すべき事がありますが。

○他施設の現状を知ることができた。当院には、まだまだ余力があると実感した。(厳しい中にも)

○顔の見えるテーブル配置。

○厳しい現実を直接長谷川議員に届けられたこと

○非常に有意義な研修でした。

○意見交換会が有意義で活発に話し合うことができたこと。また、真摯に長谷川議員さんも答えて頂いたこと。

○各施設から積極的に問題を提起され、長谷川議員からのコメント、アドバイスあり、時間的にも短くもう少し長く話したい時間が欲しかったことと満足度も良好と感じられた。

○長谷川議員から生の声が聞けたこと。

悪かった点:○参加者一人一人の話がもっとディスカッションできたら職場へのヒントもでる。
施設の垣根を超え、協力し合えるディスカッション時間がもう少し欲しかった。
○意見交換の時間の方に時間の割合を増やしても良かったのではないかと思います。

5. 今後連盟の研修会にどのようなテーマ、講師を取り上げてほしいですか。

- 人材確保や夜勤時間クリアのための工夫
適時調査を受けるための準備
- 今回のように今後は各病院 主任を集めて、現場の声を聞くことも良い
- 次世代リーダーの育成
- 議員さんの話は、勉強になるので継続して頂きたいです。
- 管理者育成のための研修
- 今後も直接訴えられる研修会がいいです。
- 地元議員との継続した意見交換会の実施

6. 政策として取り組んで欲しい内容がありましたらご自由にお書きください。

- 南予地区での看護職人材確保について…具体的な方法について
- 離職理由について調査してほしい。
- 人口問題(看護師不足も高齢化も、長い目で見れば全てここに原因があると思います。結婚をして子供を産むことに対するハードルが下がること。また、そういうライフステージのただ中にある人受け入れが可能な社会であれば良いと思います。
- 次回診療報酬改定では、急性期の病院の頑張りがむくわれるようになれば良いと思います。
- 地域病院の現状を考えた診療報酬の改定。
- 医師確保
早期の定年延長
働き続けられる対策
- 60才以上の看護師の給料維持
- 看護師だけでなく補助者確保に向けての取り組み
- 県内看護学生が県内に就職する気になれるような対策
専門職の定年引き上げ
- 施設基準 現場とのギャップがあります。
維持するために必死になってしまい、看護ケアが逆におろそかになってしまっている。
- 定年延長の給料引き下げの件は、是非ともやめていただきたいです
- 看護基準の見直し
- 現場と理想の違いをもっと身近に感じて取り組んでもらいたい。
- 特定 認定の研修に参加するための個人への助成。
お金の問題、家庭の問題でスキルアップをあきらめている職員も多いと思います。
- 市立だから、事務と同じ給料ではスタッフ・管理職は納得しない。
非日常の現場で、苦しく我慢して働いていることに関して、見合ったインテンシヴを欲求したい。
管理職員も時間外を総合病院で働く看護師に対する処遇をあげる。特定行為ナース以上のことをしているはずです。部署の入れかわり、急変対応、このままだとまた減ります。
経営ばかり考える上部と看護の質低下、スタッフ不足、ここをアドバイスして下さる方が来て欲しい。

その他

- 発言できる時間を作って頂き、感謝しています。住み慣れた地域でお産ができるこれこそ、若い女性、若い家族が地域に残ることに繋がります。